

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年 11月20日

計画の名称	1 高石市公共下水道整備計画									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	高石市							
計画の目標	公共下水道の整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率が82.8%(H22当初)から84.5%(H26)に増加させる。 ②下水道による都市浸水対策の達成率が57.0%(H22当初)から58.0%(H26)に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式	①下水道処理人口普及率 = (下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)) ②下水道による都市浸水対策達成率 = (浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha))									
		定量的指標の現況値及び目標値		備考						
		当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)		最終目標値 (H26末)					
		82.8%	84.1%		84.5%					
				57.0%	57.6%	58.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	853百万円 819百万円	A	736百万円 748百万円	B	— —	C	117百万円 71百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13.7% 8.7%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
高石市にて実施	平成27年度
	公表の方法
	高石市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

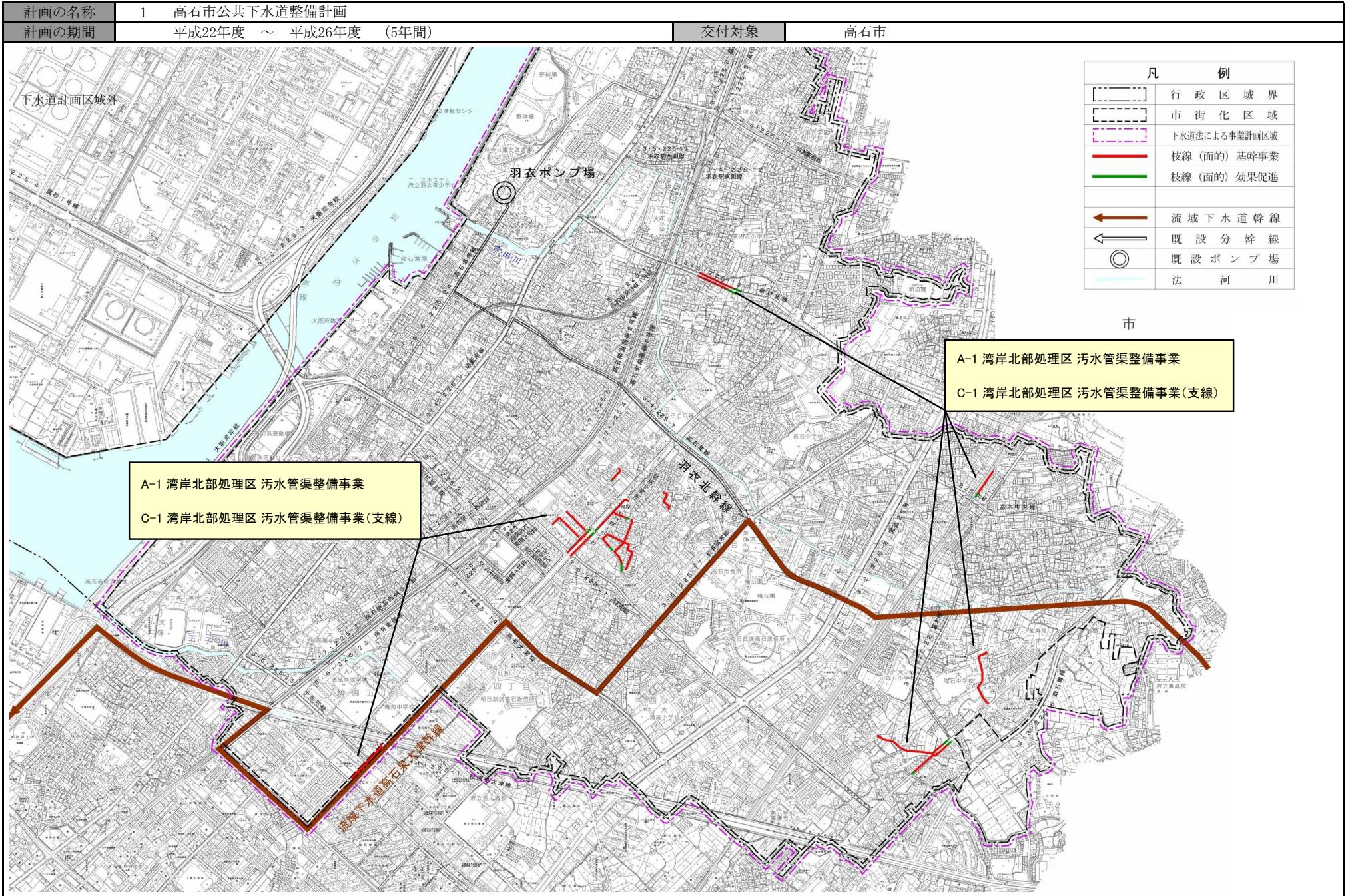
交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-1	下水道	一般	高石市	直接	—	汚水	新設	湾岸北部処理区 汚水管渠整備事業	汚水管 φ200mm L=2792m 汚水管 φ200mm L=2397m	高石市						194 175	
A-2	下水道	一般	高石市	直接	—	雨水	新設	湾岸北部処理区 雨水管渠整備事業	雨水管 2連口2200×1500～φ250mm L=1479m 雨水管 2連口2200×1500～φ250mm L=1325m	高石市						494 515	
A-3	下水道	一般	高石市	直接	—	ポンプ場	改築	羽衣ポンプ場 長寿命化計画策定	点検・調査・計画策定 点検・調査・計画策定・詳細設計	高石市						42 57	長寿命化
A-4	下水道	一般	高石市	直接	—	雨水	新設	雨水貯留タンク設置促進事業	雨水貯留タンク設置・助成	高石市						6 1	新世代
合計																736 748	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C-1	下水道	一般	高石市	直接	—	汚水	新設	湾岸北部処理区 汚水管渠整備事業 (支線)	汚水管 φ200mm L=675m 汚水管 φ200mm L=883m	高石市						30 30	
C-2	下水道	一般	高石市	直接	—	雨水	新設	湾岸北部処理区 雨水管渠整備事業 (支線)	雨水管 φ450～250mm L=1407m 雨水管 φ450～250mm L=1509m	高石市						87 41	
合計																117 71	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C-1	基幹事業 (A-1) で実施する汚水管渠に接続する汚水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																
C-2	基幹事業 (A-2) で実施する雨水管渠に接続する雨水管渠 (支線) を一体的に整備することで、下水道未整備地区の浸水対策を図る。																

*交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管渠の整備によって、下水道処理人口普及率が82.8%（平成21年度末）から85.3%（平成26年度末）に増加させたことで、目標（84.5%）を上回った。 ・雨水管渠の整備によって、都市浸水対策達成率が57.0%（平成21年度末）から58.0%（平成26年度末）に増加させたことで、目標を達成した。 <p>これら公共下水道の整備により、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与することができた。 また、羽衣ポンプ場について、長寿命化計画を策定したことにより、予防保全的な管理を行うとともに、長寿命化を含めた計画的な改善等を行うことができ、事故発生や機能停止の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることが可能となった。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	84.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	下水道処理人口普及率を算出する際の『総人口』が減少したため。
		最終実績値	85.3%		
	指標②（下水道 による都市浸水 対策達成率）	最終目標値	58.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	58.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後も引き続き、汚水管渠整備及び雨水管渠整備を進めていき、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造することに寄与していく。</p>					

(参考様式 3)

(参考図面)



(参考様式 3)

(参考図面)

